

第615回 定期演奏会

The 615th Subscription Concert of the Kyoto Symphony Orchestra

川瀬賢太郎のヴェルディ「レクイエム」

オペラを超越したドラマティックなミサ曲の最高傑作

指揮 **川瀬 賢太郎**

Conductor : Kentaro KAWASE

ソプラノ **小川 里美**

Soprano : Satomi OGAWA

メゾソプラノ **福原 寿美枝**

Mezzosoprano : Sumie FUKUHARA

テノール **藤田 卓也**

Tenor : Takuya FUJITA

バス **妻屋 秀和**

Bass : Hidekazu TSUMAYA

合唱 **京響コーラス**

Chorus : Kyoto Symphony Chorus



©Kei Uesugi

©Yoshinori Kurosawa

ヴェルディ：レクイエム

Verdi : Requiem

京都市交響楽団

2017 **8/13** 日 **京都コンサートホール**
京都市営地下鉄烏丸線「北山」駅下車、出口1・3番から南へ徒歩約5分
午後2時30分開演 (午後1時30分開場)

Sunday, August 13, 2017 / 2:30PM Kyoto Concert Hall

開演前 (午後2時10分ごろから) は
指揮者による「プレトーク」でお楽しみください。
「プレトーク」はホール・ステージ上にて開催します。

入場料 **S**¥5,000 **A**¥4,500 **B**¥3,500 **P**¥2,000 (舞台後方席)

当日残席がある場合のみ発売 ▶ 学生券 **S**¥2,000 **A**¥1,500 **B**¥1,000

※学生券は開演1時間前から発売 (席種は選べますが、座席指定はできません/学生証をご提示ください)。
※本公演では休憩がないため、後半券の発売はありません。

- ◆1歳以上未就学のお子様は「託児ルーム」(有料・要予約)をご利用ください。(お子様お1人につき1,000円/2017年8月4日までに京響075-711-3110へお申し込みください)
- ◆10枚以上のチケットお申し込みには団体割引 (10%OFF) があります。京響 (075-711-3110) までお問い合わせください。

プレイガイド (電話予約)

- 京都コンサートホール… (075) 711-3231 ●ロームシアター京都… (075) 746-3201
- 24時間オンラインチケット購入… <https://www.e-get.jp/kyoto/pt/>
- チケットぴあ… (0570) 02-9999 Pコード315-345
- ローソンチケット… (0570) 000-407 Lコード52294



©伊藤菜々子

お問い合わせ
京都市交響楽団 (075) 711-3110 <http://www.kyoto-symphony.jp/>
京都コンサートホール (075) 711-3231 <http://www.kyotoconcerthall.org/>

◎未就学のお子様のご入場はお断りいたします。 ◎都合により曲目、出演者等が変更となる場合がございます。

助成：文化庁文化芸術振興費補助金 (舞台芸術創造活動活性化事業)

主催：公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団 京都市



協賛：ローム株式会社

協力：株式会社ドルチェ楽器

後援：(株)エフエム京都

発行：公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団

美しいひびき、感動にみちた
音楽との出会いをお届けします。



京都市交響楽団

第615回定期演奏会

The 615th Subscription Concert of the Kyoto Symphony Orchestra

名古屋フィル指揮者及び神奈川フィル常任指揮者として次代を担う若きマエストロ川瀬賢太郎が、ついに京響定期へ登場！オペラ作曲家ヴェルディがイタリアの文豪マンゾーニの死を悼んで作曲した、オペラに勝るほど壮大なレクイエムで、世界的に活躍する豪華な歌手による独唱と京響コーラスの重厚なハーモニーとともに、甘美かつ感動あふれるヴェルディの世界へ誘います。

指揮

川瀬 賢太郎

Conductor : Kentaro KAWASE



©Yoshinori Kurosawa

1984年東京生まれ。2007年東京音楽大学音楽学部音楽学科作曲指揮専攻(指揮)を卒業。指揮を広く上淳一、汐澤安彦、ジョン・ミョンファンなど各氏に師事。2006年10月東京国際音楽コンクール(指揮)において1位なしの2位(最高位)に入賞。以降各地のオーケストラと共演のみならず、細川俊夫作曲オペラ「班女」、「リアの物語」、モノドラマ「大鴉」やモーツァルト作曲「フィガロの結婚」「後宮からの逃走」「魔笛」を指揮、オーケストラ公演のみならずオペラとともに注目を集める若き俊英。海外においてもモルド・フランス国立オーケストラ、ユナイテッド・インストゥルメンツ・オヴ・ルシリンと共演、さらなる活躍が期待される。現在、神奈川フィルハーモニー管弦楽団常任指揮者、名古屋フィルハーモニー交響楽団指揮者。八王子ユース弦楽アンサンブル音楽監督。三重県いなべ市親善大使。2015年「渡邊暁雄音楽基金」音楽賞受賞、第64回神奈川文化賞未来賞を受賞。2016年第14回齋藤秀雄メモリアル基金賞、第26回「出光音楽賞」、横浜文化賞文化・芸術奨励賞を受賞。

ソプラノ

小川 里美

Soprano : Satomi OGAWA



©Kei Uesugi

東京音楽大学音楽学部音楽学科卒業。同大学院音楽研究科修士課程修了。在学中に留学生特別奨学金を得てオーストリア・ザルツブルグに留学、モーツァルト国際サマーアカデミーにおいてディプロマ修了。新国立劇場オペラ研修所6期生修了。2006年文化庁在研奨学金を得てミラノに留学。2009年トゥーランドット国際コンクール優勝。同年ヴェローナ・テアトロフィラモノコにて「トゥーランドット」タイトルロールで伊デビュー。ジェノヴァ歌劇場、トッレデルラーゴ・ブッチーニ歌劇場にリユー役で出演。国内ではNHKニューイヤーパーラコンサート、三枝成彰氏の新作オペラ「KAMIKAZE」、日生劇場「フィデリオ」、東京芸術劇場「イリス」「こもり」[メリー・ウィドウ]「蝶々夫人」、東京・春・音楽祭「ラインの黄金」「ワルキューレ」「神々の黄昏」、藤原歌劇団「ラ・ボエーム」「仮面舞踏会」「ノルマ」、びわ湖ホール「ラインの黄金」などに出演。また三枝成彰作曲による新作オペラ「狂おしき真夏の一日」に出演予定。藤原歌劇団団員。

メゾソプラノ

福原 寿美枝

Mezzosoprano : Sumie FUKUHARA



京都市立芸術大学卒業、同大学院修了。音楽学部賞受賞。友愛ドイツリートコンクール第2位受賞。日本音楽コンクール入選。新国立劇場「ナクス島のアリアドネ」をはじめ、数多くのオペラに出演しており、その卓越した歌唱力と観る者を魅了する舞台姿で存在感を示している。オーケストラとの共演に於いても、「レクイエム」、「メサイア」などの教会音楽の他にマーラー交響曲第2番「復活」や「リッケルトの5つの歌曲」[アルト・ラブソディ]等の曲で歌唱し、日本各地で幅広い演奏活動を行っている。大阪フィルハーモニー交響楽団定期演奏会「ヨハネ受難曲」[マタイ受難曲]アルトソロでは心に響く名演として高い評価を得た。広い音域と豊かな声量、そして説得力のある歌唱で、最も活躍しているメゾソプラノである。平成25年度神戸市文化奨励賞・2015年度音楽クリティック・クラブ賞受賞。関西二期会会員。武庫川女子大学音楽学部教授、京都市立芸術大学、大阪芸術大学にて、後進の指導にあたっている。

テノール

藤田 卓也

Tenor : Takuya FUJITA



©Takuya Fujita

山口県出身。島根大学卒業、同大学院修了の後、渡欧。KOBE国際学生音楽コンクール1位、ドヴォルザーク国際声楽コンクール2位等を受賞。スロヴァキアの国立歌劇場において主役として舞台に立つ他、ウィーン室内歌劇場、シェーンブルン宮殿劇場でのオペラ公演やチェコ、ポーランドでの国際音楽祭に出演し成功を収めた。06年より帰国し全国各地で多数のオペラに主演。藤原歌劇団には15年「仮面舞踏会」リッカルド、16年「ドン・パスクワーレ」エルネストに出演し高い評価を得ている。今後7月「ノルマ」にポツリオーネで出演予定。また16年ベルガモの聖ジョヴァンニ・ポスコ劇場「清教徒」アルトゥーロでイタリアデビューを果たす他、「メサイア」「第九」、モーツァルト及びヴェルディ「レクイエム」のソリストとしても活躍。関西では既に功績を積み、今後の活躍が期待される新進テノール。08年山口県芸術文化振興奨励賞、13年エネルギー音楽賞受賞。くらしき作陽大学、大阪音楽大学非常勤講師。藤原歌劇団団員。

バス

妻屋 秀和

Bass : Hidekazu TSUMAYA



©Hidekazu Tsumaya

東京藝術大学卒業、同大学院修了。第24回ジローオペラ賞、第3回ロシヤ歌曲賞受賞。伊・ミラノに留学後、独・ライプツィヒ歌劇場(94-01年)及びワイマールドイツ国民劇場(02-11年)の専属歌手を務めた。プレゲンツ湖上音楽祭、ベルリン・ドイツ・オペラ、ベルリン州立歌劇場、ライン・ドイツ・オペラ、ハノーファー州立歌劇場、マンハイム国民劇場など各地で出演。日本でも新国立劇場をはじめ、数多くの劇場で活躍。これまでにヨーロッパ、日本で主要な役を多くの著名な指揮者、演出家、歌手と共演。出演したオペラは60余作、演じた役は80役、公演数は800を超え、恵まれた体躯と深みのある柔らかな声、重厚な演技で圧倒的な存在感を醸し出している。オペラのみならずオーケストラ・コンサート、宗教曲のソリストとして、またマスタークラスなどの教育活動にも取り組んでいる。17年7月二期会「ばらの騎士」オックス男爵に出演予定。ライプツィヒ在住。二期会会員。

合唱

京響コーラス

Chorus : Kyoto Symphony Chorus

1995年秋、京都コンサートホールが完成した当時の京響常任指揮者&音楽監督・井上道義の提唱で「京響第九合唱団」として結成。その後「京響市民合唱団」と改名し、12年からはさらに音楽的な高みをめざして、京響の自主演奏会を軸にオーケストラ合唱作品に取り組み「京響コーラス」と名称を変更、創立者の井上道義を創立カレバマイスター、京響常任指揮者広上淳一をスーパーヴァイザーに迎えて新たにスタートした。現在、約150名の団員で構成されており、毎週月曜日の夜を中心に京響練習場・京都市内文化会館等で練習を行っている。

京都市交響楽団 Kyoto Symphony Orchestra

日本唯一の自治体直営オーケストラとして1956年創立。2008年4月第12代常任指揮者に広上淳一が就任。2014年4月から常任指揮者兼ミュージック・アドヴァイザーに広上淳一、常任首席客演指揮者に高関健、常任客演指揮者に下野竜也が就任。2015年「第46回サントリ音楽賞」受賞。同年6月ヨーロッパ公演で成功を収め、2016年は創立60周年記念国内ツアーと京都市内で「ふらっとコンサート」を開催し、平成28年度地域文化功労者表彰を受ける。2017年4月からは下野竜也を常任首席客演指揮者に据えて広上・高関・下野による3人指揮者体制を確立し、文化芸術都市・京都にふさわしい「世界に誇れるオーケストラ」として更なる前進を図っている。

2017 6/23 金
から発売!

❖ 次回予告 ❖

2017 7/15 土
から発売!

第616回定期演奏会

アクセルロッド、「死」をめぐる3つのドラマ
武満からR.シュトラウス、そしてベルリオーズへ

日時：2017年9月2日(土) 午後2時30分開演
2017年9月3日(日) 午後2時30分開演

会場：京都コンサートホール
指揮：ジョン・アクセルロッド
曲目：武満 徹：死と再生～「黒い雨」より
R.シュトラウス：交響詩「死と変容」op.24
ベルリオーズ：幻想交響曲op.14

©Stefano Bottesi

第617回定期演奏会

広上淳一のブラームス讃 第2弾～交響曲第1番
ショスタコーヴィチの深淵と対峙する名手ベルキン

日時：2017年10月13日(金) 午後7時開演

会場：京都コンサートホール
指揮：広上 淳一 (常任指揮者兼ミュージック・アドヴァイザー)
独奏：ボリス・ベルキン (ヴァイオリン)
曲目：ウォルトン：「スピット・ファイア」前奏曲とフーガ
ショスタコーヴィチ：ヴァイオリン協奏曲第1番 1短調op.77
ブラームス：交響曲第1番 8短調op.68

©K.Miura



入場料 S ¥5,000 A ¥4,500 B ¥3,500 P ¥2,000 (舞台後方席)

入場料 S ¥5,000 A ¥4,500 B ¥3,500 P ¥2,000 (舞台後方席)